

調査期間 令和4年9月9日～10月3日  
標本設計数 3,000 有効回収数(率) 1,407 (46.9%)  
\* 「n」は、質問に対する回答者の総数を表す。  
※ 比率(%)の数値は小数第2位を四捨五入しているため、  
合計が100%にならないことがある。

## 令和4年度(2022年) 神奈川県『県民ニーズ調査』(第1回課題調査)

この調査は、県民の皆様のご意見やお考えをお聴きし、今後の県の施策を検討する基礎資料とするものです。日ごろのお考えを率直にお聴かせください。

### 【アンケートのテーマ】

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1 食・食育            | 7 ともに生きる社会かながわ |
| 2 食の安心・安全         | 8 神奈川の文化芸術     |
| 3 神奈川の農林水産業       | 9 子どもの貧困対策     |
| 4 肝炎対策            | 10 配偶者等からの暴力   |
| 5 将来の住まい          | 11 地域社会との関わり   |
| 6 SDGs(持続可能な開発目標) | 12 治安対策        |

### ◆ 記入上の留意事項

- この調査のご回答は、**封筒のあて名のご本人様**にお願いいたします。
- この調査は無記名式です。お名前やご住所の**記入は不要**です。
- お答えは、直接、この調査票の**あてはまる番号を○**で囲んでください。
- ご記入いただく筆記用具の種類や色の指定はありません。
- 分かる質問だけお答えいただければ結構です。

▼ **ご記入いただいた調査票は、同封の返送用封筒**に入れ、**10月3日(月)まで**にご投函ください。(切手は不要です。お名前やご住所の記入は不要です。)

▼ **インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要です。**

### 【お問合せ先】

神奈川県 政策局 政策部 情報公開広聴課 広聴グループ

#### ○ 問合せフォーム(10月3日までの期間限定)

県民ニーズ調査HP

(<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)に掲載している

「令和4年度調査対象者」向けお問合せフォームから送信してください。

右記の二次元コードからも送信できます。

#### ○ 電話 (045)210-1111 (内線3672~3676)

※ 受付時間：月～金 8:30～17:15(土日祝日は閉庁)

お問合せフォームへ  
アクセスできます。



# 1 食・食育

問1 「食育」※に関心がありますか。 (○は1つ) (n=1,407) (%)

1 関心がある	38.2	4 関心がない	3.7
2 どちらかといえば関心がある	39.4	5 分からない	3.9
3 どちらかといえば関心がない	13.3		(無回答 1.5)

※**食育**とは、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることをいいます。

問2 主食・主菜・副菜を組み合わせた健康的な食事内容を心がけていますか。 (○は1つ) (n=1,407) (%)

1 心がけている	75.8	3 分からない	5.8
2 心がけていない	17.1		(無回答 1.4)

問3 就寝前2時間以内に食事をとらないよう気をつけていますか。 (○は1つ) (n=1,407) (%)

1 気をつけている	63.3	3 分からない	3.0
2 気をつけていない	31.7		(無回答 2.0)

## 【複数人でお住まいの方のみお答えください】

問4 朝食・夕食を同居の方と一緒に食べていますか。 (○はそれぞれ1つずつ)

【朝食】 (n=1,135) (%)

1 ほとんど毎日	44.1	3 週に2～3日	12.5	5 ほとんど食べない	26.2
2 週に4～5日	6.0	4 週に1日程度	7.6		(無回答 3.6)

【夕食】 (n=1,135) (%)

1 ほとんど毎日	61.6	3 週に2～3日	12.9	5 ほとんど食べない	7.7
2 週に4～5日	10.5	4 週に1日程度	3.6		(無回答 3.8)

## 【一人暮らしの方のみお答えください】

問5 昼食・夕食を仲間や友人など、複数で一緒に食べていますか。 (○はそれぞれ1つずつ)

【昼食】 (n=255) (%)

1 ほとんど毎日	5.1	3 週に2～3日	5.9	5 ほとんど食べない	66.3
2 週に4～5日	7.1	4 週に1日程度	8.6		(無回答 7.1)

【夕食】 (n=255) (%)

1 ほとんど毎日	4.3	3 週に2～3日	3.5	5 ほとんど食べない	70.6
2 週に4～5日	1.6	4 週に1日程度	13.3		(無回答 6.7)

## 【全員の方がお答えください】

問6 いただきます・ごちそうさまのあいさつ、はしの持ち方、料理の並べ方など、食事のマナーを正しくできていると思いますか。 (○は1つ) (n=1,407) (%)

1 できていると思う	29.4	4 できていないと思う	10.0
2 どちらかといえばできていると思う	45.7	5 分からない	2.1
3 どちらかといえばできていないと思う	11.3		(無回答 1.6)

問7 ゆっくりよく噛んで食べていますか。 (○は1つ) (n=1,407) (%)

1 食べている	17.9	4 食べていない	9.6
2 どちらかといえば食べている	40.9	5 分からない	2.3
3 どちらかといえば食べていない	27.8		(無回答 1.4)

問8 食べ物を無駄にしないよう食べ残しや買いすぎなどに気をつけていますか。 (○は1つ) (n=1,407) (%)

1 気をつけている	54.4	3 あまり気をつけていない	4.1
2 ある程度気をつけている	39.5	4 分からない	0.6
			(無回答 1.5)

問9 歯と口の健康を保つために、かかりつけ歯科医を決めていますか。 (○は1つ) (n=1,407) (%)

1 決めている	72.3	3 分からない	1.4
2 決めていない	23.4		(無回答 3.0)

## 2 食の安心・安全

問10 食品を購入する際に、確認している表示内容がありますか。 (○はいくつでも) (n=1,407) (%)

1 期限表示 (消費期限や賞味期限)	89.8	5 食品添加物 (保存料や着色料など)	36.5
2 原産地や原産国	65.7	6 保存方法	33.7
3 アレルギー表示	9.2	7 遺伝子組換え食品に関する事項	21.5
4 原材料名	30.2	8 その他	2.6
			(無回答 2.1)

問11 食中毒を予防する上で重要なことについて、知っていたことを選んでください。

(○はいくつでも) (n=1,407) (%)

1 食品を購入したら寄り道せずに帰宅する	55.4
2 食品を保存するときは、冷凍庫や冷蔵庫を活用する	93.0
3 調理や食事前によく手を洗う	84.3
4 生肉や生魚を扱った調理器具は、使用後に消毒する	58.8
5 調理した食品はすぐに食べるようにし、残った食品は速やかに適切な温度で保存する	78.3
6 生肉は、食中毒を起こす細菌がついていることがあるので、よく加熱する	78.0
7 どれも知らなかった	0.4
	(無回答 1.4)

問12 食品を安全に食べるために、必要な知識 (例えば、調理や食事前によく手を洗う、生肉はよく加熱するなど) を持っていると思いますか。 (○は1つ) (n=1,407) (%)

1 持っていると思う	42.9	4 持っていないと思う	1.1
2 ある程度持っていると思う	46.4	5 分からない	0.9
3 あまり持っていないと思う	7.2		(無回答 1.5)

### 3 神奈川の農林水産業

問 13 県内の農林水産業を活性化する上で、「地産地消」※の取組みを重要だと思いますか。(○は1つ)  
(n=1,407) (%)

1 重要だと思う	52.5	4 重要だと思わない	2.1
2 どちらかといえば重要だと思う	35.5	5 分からない	6.8
3 どちらかといえば重要だと思わない	2.6		(無回答 0.6)

※**地産地消**とは、地域の需要に即した生産を行い、その産物を地域で消費するための取組みのことをいいます。

問 14 「かながわブランド」という言葉の意味について知っていますか。(○は1つ) (n=1,407) (%)

1 知っている	24.3	3 知らなかった	28.6
2 言葉は聞いたことがある	46.3		(無回答 0.7)

県と生産者団体で構成する「かながわブランド振興協議会」では、組織的な生産・出荷基準によって品質を確保するなどの要件を満たした農林水産物やその加工品を「かながわブランド」として登録しています。

問 15 県の農業に特にどのような役割を期待しますか。(○は1つ) (n=1,407) (%)

1 食料の安定供給	20.9	6 美しい風景や文化の継承	2.8
2 安全・安心な食料の供給	42.9	7 働く場の提供	1.4
3 価格の安い食料の供給	9.9	8 その他	0.7
4 災害時の避難場所など安全な空間の提供	2.6	9 分からない	1.8
5 自然や土とふれあう場・学習の場の提供	3.3		(無回答 13.8)

### 4 肝炎対策

問 16 「ウイルス性肝炎」※という病気を知っていますか。(○は1つ) (n=1,407) (%)

1 知っている	50.9	3 知らなかった	6.1
2 言葉は聞いたことがある	41.8		(無回答 1.2)

※**ウイルス性肝炎**とは、肝炎ウイルスにより肝臓の細胞が破壊され炎症が起きる病気のことです。日本では特にB型、C型肝炎にかかる人が多くなっており、肝硬変や肝がんなどの命に関わる病気に進行することもあります。

問 17 これまでに「肝炎ウイルス検査」※を受けたことがありますか。(○は1つ) (n=1,407) (%)

1 ある	16.3	3 ない	63.4
2 受けた可能性がある	9.2	4 分からない	10.3
			(無回答 0.8)

※**肝炎ウイルス検査**は、本人が自覚的に受検する場合と、大きな外科手術(全身麻酔での手術で1993年以降に経験)、妊娠・出産(1993年以降に経験)及び献血時(1990年以降に経験)に無自覚に受けた可能性があります。

【問 17 で 1、2 を選んだ方へ】

問 17-1 検査の結果を知っていますか。(○は1つ) (n=359) (%)

1 知っている	71.6	3 分からない、覚えていない	21.4
2 知らない(結果待ちを含む)	5.6		(無回答 1.4)

## 5 将来の住まい

問 18 将来高齢者になったとき現在の住まいに不安がありますか。高齢者の方は、現在の状況をご回答ください。(○は1つ) (n=1,407) (%)

1	ある	53.2	2	ない	32.0	3	分からない	13.1	(無回答 1.7)
---	----	------	---	----	------	---	-------	------	-----------

【問 18 で 1 を選んだ方へ】

問 18-1 不安だと思う理由をすべて選んでください。(○はいくつでも) (n=749) (%)

1	現在の住まいでは、いざというとき支援してくれる人が近くにいないから	34.8
2	現在の住まいでは、ゴミ捨て・買い物や階段・坂の上り下りなどがつらいから	30.8
3	現在の家賃や住宅ローンを払い続けられるか不安だから	33.0
4	リフォームや建替えをする場合、方法・相談先が分からないから	8.3
5	リフォームや建替え、住替えをする場合、費用が用意できるか不安だから	35.0
6	現在の住宅とは別の高齢者向け住宅に住み替える場合、どのような住宅があるのか、 どれがよいのか分からないから	22.4
7	住み替える場合、現在の住宅をどのように処分・管理してよいのか分からないから	17.4
8	住み替える場合、住み替えた先で地域に溶けこめるかどうか不安だから	14.3
9	その他	5.6
10	分からない	1.6

(無回答 0.5)

【全員の方がお答えください】

問 19 将来、親や子、親族の近くに住みたいという考えがありますか。(○は1つ) (n=1,407) (%)

1	一緒に住みたい	5.5	4	すでに一緒に住んでいる	12.9
2	近くに住みたい	37.6	5	すでに近くに住んでいる	15.4
3	一緒に、あるいは近くに住みたくない	9.3	6	分からない	18.3

(無回答 1.0)

## 6 SDGs(持続可能な開発目標)

問 20 SDGs(エス・ディー・ジーズ)について知っていますか。 (○は1つ) (n=1,407) (%)

1 知っている	57.9	2 言葉は聞いたことがある	25.9	3 知らなかった	12.2
(無回答 3.9)					



SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは、2015年9月にすべての国連加盟国が全会一致で採択した2030年までに持続可能な世界(将来の世代のための環境や資源を壊さず、今の生活をより良い状態にすること)を実現するための開発目標です。

【問20で「1 知っている」または「2 言葉は聞いたことがある」を選んだ方へ】

問 20-1 SDGs達成に向けて、取り組みたいと思いますか。 (○は1つ) (n=1,180) (%)

1 取り組みたい	27.3	3 取り組みたくない	4.0
2 機会があれば取り組みたい	57.5	4 分からない	8.8
(無回答 2.4)			

### 【全員の方がお答えください】

問 21 どのようなきっかけがあれば、SDGs達成に向けて取り組んでみたいと思いますか。

(○はいくつでも) (n=1,407) (%)

1 SDGsに関する詳細情報	32.3	6 職場、学校などからの後押し	19.0
2 SDGsの取組み事例の紹介	42.6	7 著名人による旗振り	4.4
3 SDGsを意識したイベント情報	30.1	8 その他	2.5
4 SDGsに関する活動の場	26.4	9 分からない	9.8
5 SDGsと一緒に取り組む仲間	19.1	10 特になし	8.6
(無回答 3.5)			

## 7 ともに生きる社会かながわ

問 22 「ともに生きる社会かながわ憲章」を知っていますか。 (○は1つ) (n=1,407) (%)

1 知っている	6.9	3 知らなかった	66.6
2 言葉は聞いたことがある	23.3		(無回答 3.2)

県では、ともに生きる社会かながわの実現をめざし、2016年10月に「**ともに生きる社会かながわ憲章**」を定めました。

### ともに生きる社会かながわ憲章

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます



【問 22 で「1 知っている」または「2 言葉は聞いたことがある」を選んだ方へ】

問 22-1 「ともに生きる社会かながわ憲章」を何で知りましたか。 (○はいくつでも) (n=425) (%)

1 ポスター・チラシ (駅・公共施設)	41.6	6 ホームページ	5.9
2 ポスター・チラシ (職場・学校)	11.3	7 SNS※	2.6
3 ポスター・チラシ (自治会掲示板・その他)	20.9	8 新聞・ミニコミ誌・タウン誌	13.6
4 県・市町村の広報紙 (県のたよりなど)	56.9	9 地域のイベント・お祭り	2.4
5 県からの送付物 (納税通知など)	7.3	10 その他	1.6
			(無回答 2.8)

※SNSには、例えばLINE、Instagram、Twitterなどがあります。

**【全員の方がお答えください】**

問 23 5年前と比べて障がい者に配慮した行動をとる人が増えたと思いますか。 (○は1つ)  
(n=1,407) (%)

1 増えたと思う	11.2	4 どちらかといえば増えていないと思う	5.9
2 どちらかといえば増えたと思う	29.4	5 増えていないと思う	11.2
3 どちらともいえない	27.0	6 分からない	13.9
(無回答 1.4)			

問 24 障がい者に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると思いますか。 (○は1つ)  
(n=1,407) (%)

1 あると思う	38.0	4 ないと思う	3.3
2 少しはあると思う	40.7	5 その他	0.1
3 あまりないと思う	10.8	6 分からない	5.3
(無回答 1.8)			

問 25 手話やろう者についての理解を深めるため、手話について学ぶとしたら、どのような方法で学びたいですか。 (○は1つ) (n=1,407) (%)

1 手話講習会	24.4	6 学校教育	6.3
2 手話サークル	10.0	7 学びたいとは思わない	9.0
3 インターネット	19.0	8 その他	0.5
4 本・DVD	5.5	9 分からない	9.7
5 テレビ番組	9.5	(無回答 6.2)	

問 26 「ともに生きる社会かながわ」の実現のため、障がいの程度にかかわらず、あらゆる人が文化芸術活動を楽しむためには、どのような取組みが有効だと思いますか。 (○はいくつでも) (n=1,407) (%)

1 障がい者のみが参加・出演するイベントなどの開催	5.1
2 障がい者に限らず、あらゆる人が参加・出演できるイベントなどの開催	67.9
3 自宅や病院などから鑑賞できる公演の開催	26.8
4 鑑賞しやすい環境の整備 (字幕表示や車椅子席の設置など)	55.4
5 その他	1.9
6 分からない	8.0
(無回答 1.8)	



## 8 神奈川の文化芸術

問 27 次にあげる文化芸術について、ホールなどの文化施設での公演や展覧会へ行ってみたくらいと思いませんか。 (○はいくつでも) (n=1,407) (%)

1 伝統文化(民謡、三味線、歌舞伎、能など) 30.6	6 文学(詩、俳句、短歌、小説など) 7.6
2 演芸(落語、講談、漫才、浪曲など) 30.6	7 美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸、写真など) 49.8
3 生活文化(生け花、盆栽、書道など) 18.6	8 映像作品(映画、アニメ、CGなど) 44.2
4 音楽(歌謡曲、ポップス、クラシックなど) 56.9	9 その他 0.9
5 演劇・舞踊(ミュージカル、バレエなど) 42.6	10 行ってみたくらいとは思わない 9.2
(無回答 2.1)	

問 28 どのような文化施設に行ってみたくらいと思いませんか。 (○は3つまで) (n=1,407) (%)

1 魅力的な公演や展覧会が開催されている 57.0	6 周辺に商業施設や観光地がある 15.0
2 様々な文化にふれることができる 21.5	7 アクセスが容易である 55.9
3 入場料が安い 40.2	8 その他 0.6
4 設備が整っている※ 24.4	9 行ってみたくらいとは思わない 5.1
5 遅い時間帯まで鑑賞できる 8.5	(無回答 5.8)

※設備が新しい、きれいであることのほか、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮されていることも含みます。

問 29 どのような文化芸術活動を実践(鑑賞を除く)してみたくらいと思いませんか。 (○はいくつでも) (n=1,407) (%)

1 伝統文化(民謡、三味線、歌舞伎、能など) 11.3	6 文学(詩、俳句、短歌、小説など)※ 8.5
2 演芸(落語、講談、漫才、浪曲など) 8.0	7 美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸、写真など) 40.2
3 生活文化(生け花、盆栽、書道など) 25.2	8 映像作品(映画、アニメ、CGなど) 15.8
4 音楽(歌謡曲、ポップス、クラシックなど) 28.5	9 その他 1.6
5 演劇・舞踊(ミュージカル、バレエなど) 11.2	10 してみたくらいとは思わない 23.7
(無回答 2.9)	

※自身で創作、発表することに限り、読書を含みません。

問 30 文化芸術活動をする際に、どのような不満や不便を感じますか。 (○は3つまで) (n=1,407) (%)

1 練習や稽古をする適当な場所がない 14.4	7 受講料や参加費が高い 25.9
2 展示や発表をする適当な場所がない 3.6	8 活動をする時間がとれない 26.9
3 指導をしてくれる人が見つからない 9.0	9 その他 1.3
4 一緒に行く仲間が見つからない 14.9	10 特に不満や不便を感じることはない 7.3
5 活動に関する情報が少ない 16.8	11 そもそも文化芸術活動を行っていない 26.4
6 学ぶための教室や講習、プログラムが少ない 14.6	(無回答 5.5)

## 9 子どもの貧困対策

問 31 「子どもの貧困」※という言葉の意味を知っていますか。 (○は1つ) (n=1,407) (%)

1 知っている	72.8	3 知らなかった	7.4
2 意味は知らないが言葉は聞いたことがある	18.7	(無回答)	1.1

※「**子どもの貧困**」とは、17歳以下の子どもが平均的な生活水準の半分以下の世帯で暮らしている状態を指します。『国民生活基礎調査の概況』（厚生労働省）の結果によると、日本の子どもの約7人に1人が子どもの貧困状態にあるとされ、社会的な問題となっています。

問 32 現在、近所や職場、親戚などの身近に経済的に苦しく行政などによる支援※が必要だと思われる17歳以下の子どもはいますか。 (○は1つ) (n=1,407) (%)

1 いる	4.5	3 分からない	40.0
2 いない	54.7	(無回答)	0.9

※「行政などによる支援」には、経済的な支援のほか、相談支援や就労の支援なども含みます。

問 33 貧困などの困難な環境にある子どもを身近な地域で支援する活動、いわゆる子ども食堂や居場所※の提供などについて、どのように考えていますか。 (○は1つ) (n=1,407) (%)

1 すでに活動している、または活動する予定である	1.2
2 一緒に活動したい、または協力したい	6.3
3 活動に興味を持っている	26.2
4 活動することや協力することは難しい	23.0
5 これから考えたい	21.8
6 関心がない	5.3
7 その他	1.0
8 分からない	12.7
(無回答)	2.6

※この設問の「子ども食堂」とは、子どもが一人でも行け、無料または低額で食事をとることができる場所のことです。また、「居場所」とは、子どもたちにとって学校でも家でもない子ども自身がほっとできる居場所のことで、学習支援などの活動も含みます。

## 10 配偶者等からの暴力

問 34 次のようなことが夫婦（事実婚や別居中を含む）の間で行われた場合、それを暴力（DV）だと思えますか。（1）から（6）までのそれぞれについて、選んでください。（○はそれぞれ1つずつ）

	(n=1,407) (%)				
	暴力にあたる	暴力にあたる場合も そうでない場合もある	暴力にはあたらない	分からない	(無回答)
(1) 平手で打つ	78.8	15.7	0.4	1.4	3.8
(2) 何を言っても長時間無視し続ける	54.9	31.4	6.1	3.8	3.8
(3) 大声でどなる	59.8	31.3	3.2	1.8	3.9
(4) 生活費を渡さない	72.1	16.7	3.7	3.4	4.1
(5) 交友関係や電話などを細かく監視する	53.7	30.7	7.2	4.2	4.3
(6) いやがっているのに性的な行為を強要する	86.9	6.5	0.9	1.7	3.9

問 35 配偶者等からの暴力（DV）について、知っていたことを選んでください。（○はいくつでも）  
(n=1,407) (%)

1 DV被害者相談窓口がある	77.8
2 DV被害者相談窓口は、男性向けもある	25.2
3 DV被害者は加害者から離れて自立生活するための支援や情報提供を受けることができる	53.9
4 子どもの前でDVが行われることは、子どもへの虐待となる	52.1
5 恋人同士の間で起こる暴力を「デートDV」という	27.9
6 どれも知らなかった	10.4
	(無回答 3.8)

## 11 地域社会との関わり

問 36 長い人生を充実させるため、コミュニティなど、地域社会との関わりを大切にしていますか。  
(○は1つ) (n=1,407) (%)

1 そう思う	67.0	2 そう思わない	30.0	(無回答 3.1)
--------	------	----------	------	-----------

## 12 治安対策

問 37 不安を感じる身近な犯罪は何ですか。 (○はいくつでも) (n=1,407) (%)

1 ひったくり	33.2	9 自転車やオートバイの盗難	27.3
2 特殊詐欺	56.9	10 自動車の盗難	22.7
3 悪質な客引き	14.5	11 コンピュータへの不正アクセス	50.5
4 空き巣	54.9	12 インターネットを利用した犯罪 (詐欺、ネットポルノ、児童買春など)	47.8
5 子どもの誘拐や子どもへのいたづら	41.2	13 大麻、覚醒剤などの薬物犯罪	17.9
6 痴漢や強制わいせつなどの性犯罪	34.6	14 その他	1.8
7 ストーカー行為	23.1	15 特にない	3.0
8 暴行や傷害	36.1		
(無回答 2.3)			

問 38 地域犯罪発生情報や防犯に役立つ情報について、得やすいのはどのような方法ですか。

(○はいくつでも) (n=1,407) (%)

1 テレビ	65.8	8 インターネット(警察のホームページ、Twitter、 「Yahoo!防災速報」、神奈川県警察公式YouTube 防犯チャンネルなど)	55.8
2 ラジオ	13.3	9 警察からのメール	13.5
3 新聞	26.2	10 警察官の防犯講話・防犯教室	3.3
4 ポスター・チラシなど	24.9	11 警察官の戸別訪問	8.5
5 回覧板	32.2	12 その他	0.7
6 防災無線	17.9		
7 駅前などでのキャンペーン	10.4		
(無回答 2.3)			

問 39 犯罪や交通事故がなく、より安心してくらすために重要だと思うものは何ですか。

(○は3つまで) (n=1,407) (%)

1 防犯カメラなどの防犯設備の整備	73.0
2 地域住民同士のつながり	41.0
3 県民、企業などと行政が一体となって行う活動(防犯・交通安全など)	13.6
4 規範意識を高める教育(防犯・交通安全など)	20.6
5 ボランティアなどによる活動(防犯・交差点での見守りなど)	15.0
6 交通安全施設の整備(信号機、道路標識・標示など)	25.2
7 交通指導取締りの強化や交通違反等の厳罰化	20.3
8 制服警察官、パトカーなどによる街頭活動(警戒・検問など)	28.3
9 安全運転相談(運転に不安を覚える方の相談支援)	4.2
10 その他	2.0
11 特にない	0.9
(無回答 6.7)	

…\*\*

集計結果を分析するために必要な項目についてお聞きします。(個人を特定するものではありません。)

F 1 お住まいの地域はどちらですか。 (n=1,407) (%)

1	横浜(横浜市)	37.9
2	川崎(川崎市)	13.9
3	相模原(相模原市)	7.3
4	横須賀三浦(横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町)	9.5
5	県央(厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村)	10.1
6	湘南(平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町)	15.3
7	県西(小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町)	4.4
		(無回答 1.6)

F 2 あなたの性別をお聞かせください。 (n=1,407) (%)

1	男性	44.1	2	女性	52.8	(無回答 3.1)
---	----	------	---	----	------	-----------

F 3 あなたの年齢は、おいくつですか。(2022年9月1日現在) (n=1,407) (%)

1	18~19歳	0.0	5	35~39歳	7.5	9	55~59歳	10.7	13	75~79歳	5.5
2	20~24歳	1.9	6	40~44歳	9.2	10	60~64歳	8.9	14	80歳以上	3.8
3	25~29歳	3.3	7	45~49歳	10.2	11	65~69歳	9.2			
4	30~34歳	5.3	8	50~54歳	10.1	12	70~74歳	12.5	(無回答 1.7)		

F 4 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。(同居、別居は問いません。)

(○はあてはまるものすべて) (n=1,407) (%)

1	小学校入学前	7.7	5	短大、専門学校等在学中	1.3	9	その他	3.1
2	小学校在学中	10.2	6	大学、大学院等在学中	5.8	10	子どもはいない	33.4
3	中学校在学中	6.3	7	学校教育終了 [未婚]	21.0			
4	高校在学中	5.5	8	学校教育終了 [既婚]	25.4	(無回答 2.8)		

F 5 現在のお宅の家族形態は、次のどれにあたりますか。(○は1つ) (n=1,407) (%)

1	一人暮らし(単身世帯)	18.1	4	祖父母と親と子の世帯(3世代世帯)	3.6
2	夫婦のみ(1世代世帯)	29.4	5	その他の世帯	4.0
3	親と子の世帯(2世代世帯)	43.6	(無回答 1.2)		

F 6 あなたの現在のお仕事は、次のどれにあたりますか。1～9の中から1つ選んでください。  
 また、1～5を選んだ方は、右のア～ケの中から1つ選んでください。

(n=1,407) (%)

(n=855) (%)

1 自営業主 5.0	ア～ウから 1つ選んで ください。	ア 農林水産業 0.5
2 家族従業者 (家業手伝い) 1.1		イ 商工サービス業(各種商店、飲食店、工事店などの経営) 5.3 ウ 自由業(開業医、弁護士、茶華道師匠、芸術家など) 3.6
3 勤め (フルタイム) 38.6	エ～ケから 1つ選んで ください。	エ 経営・管理職(会社等の部長級、官公庁の課長級以上) 6.0
4 勤め (パートタイム) 15.9		オ 専門・技術職(研究員、技術者、勤務医、看護師など) 22.9 カ 事務職(事務系会社員・公務員、警察官、駅員など) 24.6 キ 教育職(教諭、保育士など) 5.0
5 内職 0.2		ク 技能・労務職(工場の生産工程従事者、運転士など) 11.0
6 主婦・主夫 (勤めていない) 13.7		ケ 販売・サービス職(商店、サービス業などの従業員) 19.2
7 学生 0.8		(無回答 2.0)
8 無職 16.2		
9 その他 0.9		
(無回答 7.7)		

**質問は以上です。最後までご協力いただき、ありがとうございました。**

同封の返送用封筒で、10月3日(月)までにご投函ください。(切手は不要です。)  
なお、インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要です。

**今回の調査でお伺いしたテーマについて、ご意見やご提案がありましたら、お書きください。**

ご意見やご提案を希望するテーマの番号に○をつけてください。

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 1 食・食育                | 7 とともに生きる社会かながわ |
| 2 食の安心・安全             | 8 神奈川の文化芸術      |
| 3 神奈川の農林水産業           | 9 子どもの貧困対策      |
| 4 肝炎対策                | 10 配偶者等からの暴力    |
| 5 将来の住まい              | 11 地域社会との関わり    |
| 6 S D G s (持続可能な開発目標) | 12 治安対策         |

下記にその内容をご記載ください。

228人 (16.2%) から自由意見が寄せられました。

